

# 2020年東京オリンピック・パラリンピックあいち選手強化事業について

## 1 目的

2020年（平成32年度）に開催される東京オリンピック・パラリンピックに愛知県ゆかりの選手を多数輩出し、県民の一体感や気運の醸成につなげるとともに、本県のスポーツ推進を支える好循環を創出するために、オリンピック・パラリンピック実施競技の日本代表レベルにある強化指定選手を対象にした競技力強化事業及び次世代の人材育成事業を実施する。

## 2 事業内容【パラリンピックあいち選手強化事業関係分】

### ○ 強化指定選手に対する競技力強化事業

現在、オリンピック・パラリンピック実施競技の日本代表及び日本代表候補（年齢カテゴリー別の日本代表を含む。）である強化指定選手が、競技力の総合的なレベルアップを図り、東京オリンピック・パラリンピック出場を目指す。

### ア 2020年東京オリンピック・パラリンピックあいち選手強化本部（仮称）の開催

選手強化本部・専門部会を設置し、日本代表選手等、県の示す条件に該当する選手で、競技団体が推薦する有望選手の中から実績や育成計画等を審査の上、強化指定選手を決定する。

#### ○ パラリンピック（40名程度）

強化指定選手（年齢別カテゴリーの設定はしない）

#### ※ オリンピック（200名程度）

a トップ強化指定選手（大学生・社会人対象）

b ジュニア強化指定選手（小学生～高校生対象）

### イ パラリンピック強化指定選手認証式の開催及び基礎知識の習得

パラリンピック強化指定選手認証式を実施し、知事から認定証を交付することにより、選手の自覚を促すとともに、東京パラリンピックに向けた選手の士気を高め、選手の活躍を支援する。また、ドーピングコントロール等の基礎知識を身に付けることで、薬物の危険性を知り、日本代表として国際大会に出場する自覚を身に付ける。

(ア) 強化指定選手認証式

(イ) ドーピングコントロール等の基礎知識の習得

### ウ 強化指定選手の競技力強化事業

国際的レベルの競技力を身に付け、東京パラリンピックに出場して活躍できる選手の育成に取り組むための強化・育成計画に対し、必要な支援を行う。

※対象は、遠征費、強化合宿費、医・科学サポート費、競技用具整備費等  
※パラリンピックに出場するためには、①国際競技団体が定める国際大会でのポイント獲得が必要、②支援者の帯同が必要、③競技用具費が高額等、障害者スポーツ特有の条件や環境があり、これらに配慮し事業を実施する。

## 2020年東京オリンピック・パラリンピックを契機とした競技力強化のイメージ図

概要： 県内トップ選手の競技力強化事業を継続して推進し、現在、日本代表レベルにある選手の競技力強化への支援をすることにより、本県ゆかりのオリンピック・パラリンピック選手を多数輩出するとともに、その成果を継承し、本県のスポーツ推進を支える好循環を創出する取組

### 現状と課題

- 各世代で全国レベルの競技・競技者が多数いる本県の潜在力を伸ばし、日本代表及びオリンピック・パラリンピック選手を多数輩出するためには、特別強化が必要
- 自国開催のオリンピックはフルエントリーが可能のため、本県にとって大きなチャンス（※東京パラリンピック大会については、フルエントリーかどうか今のところ未定）
- 本県ゆかりの選手の活躍は、県民の一体感や活力の醸成に必要不可欠
- 都道府県が国際大会で活躍できる選手を育成し、日本代表の強化につなげることが重要な役割であり、トップ層強化に向けた新規事業の立ち上げと継続が必要
- 関連行事を選手強化の通過点として捉え、目標設定をするなど競技団体と連携し、継続して強化への取組みを支援することが県の役割（オリ事業のみ）
- 次世代の強化指定選手等を育成する取組みも好循環の創出には重要（オリ事業のみ）

### 対応策（事業）

2020年東京オリ・パラあいち選手強化事業費

- 強化指定選手に対する競技力強化事業
  - 2020年東京オリ・パラあいち選手強化本部・専門部会
  - 強化指定選手証式と基礎知識習得（パラ事業のみ）
  - 強化指定選手の競技力強化事業
  - ジュニア強化指定選手育成事業（オリ事業のみ）
- 次世代につなぐスポーツ人材育成事業（オリ事業のみ）
  - 大学・企業との連携事業
  - 競技団体との連携事業

